

株式会社ローザ特殊化粧品



企業概要

企業名	株式会社ローザ特殊化粧品
設立年	1958年
代表	角屋正雄
従業員数	10名程度
事業内容	化粧品及び医薬部外品に係る新製品の製造・販売、OEM生産



【企業名の由来】

- ① 「ローザ」＝ポルトガル語で**バラ**を意味します。また、企業理念の一つに「報恩感謝」があり、「ありがとう」という意味が込められていますが、「ありがとう」はポルトガル語の「オブリガート」からきています。昔は、美の象徴は赤いバラに例えられ、歴史上の絶世の美女はバラを好みました。
- ② 「特殊」は、**技術 (FFVST)** という自然素材を化粧品の原料としており、地産地消のギフトとなる特別なものをつくることを意味しています。
- ③ 「化粧品」は、特許の分類です。

【OEMとは】

製薬会社やエステティック、専門学校等からオーダーを受け、オリジナルの商品をつくります。OEMは、取引先の顧客のニーズに対応した製品をつくるのが基本ですが、逆提案をすることもあります。

試作（2～3か月、長くて1年）を行います。季節によって肌質も異なるため、どの季節に一番売れるものをつくりたいかによって、原材料の配合等を変えます。



ビジョンとミッション

VISION

世界中を笑顔にするエシカル&エコ化粧品をつくります

自然素材を大事にし、地球環境を大事にする。
化粧品の原点は「水」であり、水の保全活動や植林活動などの
水の循環をよくする活動に参加しています。

MISSION

ローザ式ローカルコミュニティ

ローザは、地域のコミュニティ的な存在を目指しています。
地域密着型の様々な活動を行うことで、仕事をつくり出し、
地域の人々とも仲良くなることができます。

多摩地域の素材を使用し、多摩地域で販売・消費する
「地産地消」により、多摩地域の経済を循環させていくことが、
ローザのミッションであると考えています。



企業沿革

1958（昭和33）年	ローザ特殊化粧品株式会社設立
1973（昭和48）年	代表取締役 角屋正雄就任
1982（昭和57）年	株式会社ローザ特殊化粧品設立
1983（昭和58）年	化粧品製造業（東化）第5801号厚生省認可
1992（平成3）年	化粧品輸入販売業（東化輸）第0242号厚生省認可
2001（平成13）年	本社を昭島に移転 本社及び工場・エステックサロンを本社所在地に併設
2002（平成14）年	医薬部外品許可 許可番号 13DZ-5026号

企業理念



報恩感謝

弊社の経営理念は、多くの化粧品会社から弊社を選んで頂いたことを感謝し、弊社の製品を使うことによって美しくなる事にお客様から感謝される製品作りをモットーとする「報恩感謝」。“ありがとう”の心使いを大切にします。

知行合一



その為に、試作のから匙加減にこだわった調合、五感だけ段階でなく六感まで働かせた製品作り、原料や製品のデータやストーリー性、GQP や GMP に基づいた管理体制、そして真心をこめたパッキンを詰めて出荷する「知行合一」。知っていることは出し惜しみしない。当たり前のことを当然のことそして行う心使いと気配りの実行です。



常在意識

そして、いかなる時にもより良い化粧品 OEM の開発やエシカル&エコ化粧品と結びつけお客様に喜んで頂く思考方法の「常在意識」の三点です。

企業をマネジメントするうえでは、人と人とのつながり、ご縁を大事にしています。

ローザ特殊化粧料は、2018年に経済産業省より、「おもてなし規格認証」されました。



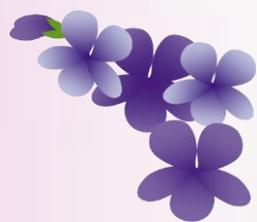
特徴とこだわり

ローザ特殊化粧料の特徴とこだわりは、自然由来の原料を使い、環境に優しい化粧品をつくることです。環境に配慮して、今だけではなく次世代環境につなげていくことが、会社の使命あると考えています。創業から蓄積した豊富な経験とノウハウを活かして、お客様のニーズを的確かつ最速で対応することを心がけています。

(特徴1) 独自の技術 「FFVST」

「FFVST」とは、**自然植物**から化粧品に有効な成分を抽出する技術です。多摩地域の地産材料のエキスを抽出した、**地産地消のエコ化粧品**です。自然素材から自社で抽出し、**肌に優しく、安全・安心**の化粧品の製造を行っています。創業以来、一度も化粧品のスキントラブルのクレームは、おきていません

FFVST



F= Fruits フルーツ

F= Flower フラワー

V= Vegetable ベジタブル

S= Seaweed シーウッド

Stone ストーン

T= Tree ツリー



ローザでは、男性用化粧品もつくっています！

男性用化粧品「**男眼**」という化粧品をつくっています。ローザは、化粧品業界の展示会よも、ものづくりの展示会に出展することが多いです。ものづくりの展示会は男性が多いですが、男性にも化粧品に関心を持ってもらうためにつくりました。



(特徴2) 昭島の地下水を使用した商品

化粧品の原点は「水」です。

ローザ特殊化粧品では、昭島市の深層地下水を使った商品を製造しています。
通常の**2倍のミネラル成分**を含有した化粧品もラインナップしています。

ミネラル**2倍**

ローザ特殊化粧品は、

「**多摩の自然からつくる多摩のための製品開発**」を掲げています。



すはだ美人クリーム

↑ これらの商品は、「ふるさと納税」(さとふる)に採用されています。

【使用後の感想】

「すはだ美人クリーム」を使用しましたが、無香料で肌に優しい印象を受けました。クリームはプルプルで瑞々しく、実際つけてみると、肌への浸透力が高かったです。就寝前につけて寝ても、翌朝には肌が乾燥していることが多いですが、「すはだ美人クリーム」は、翌朝、肌がしっとりしており、効果を実感しました。(30代・女性)。



昭島市・水道部キャラクター
「ちかっぱー」

(豆知識) ~昭島市のお水について~

昭島市の水道は、事業開始から一貫して地下水のみを水源としたおいしい水です。現在、東京都の区市町村で、地下水(深層地下水)のみを水源としている自治体は昭島市だけとなっています。

(昭島市HPより抜粋)

（特徴3）自己実現できる職場環境とチャレンジングな企業風土



【仕事内容】

職種は、製造の補助、生産管理（測定や充填、容器の調達、デザイン等）、事務、作業の四つがあります。全部が一つの製造の仕事ですので、「総合職」としてできるようになることが究極の目的ですが、入口は好きなところから入ってほしいと思います。

【自己実現できる職場環境】

ローザでは、勤務時間内にセミナーに参加したり、知的財産権（特許・商標・意匠等）の勉強をすることができます。コスメ検定3級は、社員もパートも全員受けて、みんなで喜びを分かち合います。これは会社の底上げにもなりますし、モチベーションを高めることにもつながります。

できれば、つくる人は化学知識があったほうがよいですが、知識がなければつukれないのかといえば、そうではありません。研究心や探究心があることが重要です。



【チャレンジングな企業風土】

今後は、「コスメティング」をやりたいです。OEMは300個からつくりますが、世の中にはこれでも数が多いと思う人（アロマサロンなどの個人事業主や起業家等）がいます。それらの人々が小ロットで作りたいものを、ローザの場所を提供して自分でつくることができるシステムを展開していきたいと思えます。

化粧品の製造は薬事法で決められた場所で製造技術者が管理・監督をしてつくらなければならないのですが、それを逆手に取り、「**つくりたいものをローザにきて、自分でつくって売る**」、「**こだわりのものをつくる**」ことを目指します。



専務取締役 - 角屋氏へのインタビュー

Q. 中小企業ならではの強みは何ですか？

A. 小回りが利くところです。また、自分達の意見がすぐに商品に反映されることです。また、上司との距離も近い会社だと思います。

Q. ローザでは、どのような人材を求めていますか？

A. 素直な人、質問できる人がいいですね。素直な人は伸びます。夏休みに大学生のインターンシップを受け入れています。こちらから課題を出して、自分達で考えて試作をしてもらいますが、みんなで一つのことをやっていく達成感を味わってほしいです。インターンシップでは、質問を素直に受け止める人や探究心のある人、みんなをまとめられるかどうかという点を見ます。「つくる」という仕事はゴールがあるようでないため、常日頃の自分のイメージ、日々の知識の集積が役に立ちます。このように、探究心を持っているかどうかを採用では重視しています。また基本的なことですが、ローザの情報をどれだけ知っており、どれだけ関心を持っているかという点も大事だと思います。

Q. 学生のうちにやっておいた方が良いことはありますか？

A. 学生のうちにやっておくべきことは、「アルバイト」です。他人から教わることは重要であり、心配り・心配りができることが重要です。仕事をするうえでは、優先順位や人の意をくみ取ることが大切です。怒られてもめげずに成長することができればよいですし、自分の心を磨き、お金をもらうことへの責任を感じてほしいと思います。

Q. 化粧品を選ぶときのコツはありますか？

A. 一般消費者は、それぞれ化粧品に対して好みがあるので一概には言えませんが、化粧品を少し手にとって舐めて確認をし、刺激がないものは「安全」な化粧品である証拠だといえます。他社の化粧品の中には、「無添加」でもビリビリするものがありますので、それらは肌に優しいとはいえません。



企画・生産・管理主任 - 中道氏へのインタビュー

Q. ローザ特殊化粧品に就職した経緯を教えてください。

A. 私は中途採用であり、それまでは大手量販店等で働いていました。もともと地元で働きたいという気持ちがあり、地域密着型の企業を探していました。そこで、ローザという企業に出会い、面白そうな企業であると感じたため入社しました。

Q. 現在のお仕事の内容を具体的に教えてください。

A. 主な仕事は、事務関係です。請求書の作成や顧客対応、見積書の作成、補助金・助成金関係の書類作成等、また製造関係の仕事もしています。

Q. 仕事上で、どのような時にチームワークが重要であると感じますか？

A. 納期に間に合わせる時です。商品の出荷までに段取りよく、チームワークを組まなければ納期に遅れてしまいます。人数が少ない会社ですので、日々、チームワークが必要な会社であると思います。

Q. 入社前後で雰囲気は変わっていますか？職場の雰囲気や先輩についてどのように感じていらっしゃいますか？

A. 入社前後での印象は、特に変わっていません。職場の人々は、困ったときは助けてくれますし、相談にも乗ってくれますし、間違っていたらすぐに言ってくれます。職場の雰囲気は明るく、楽しい職場です。

Q. 仕事のやりがい・魅力は何ですか？

A. 結果が分かりやすいことです。自分が直接動いていますので、結果が見えやすいです。また、お客様との距離が近く、生の意見を聞くことができます。特に展示会関係の仕事は、やりがいを感じます。ディスプレイやレイアウトを自分で考え、自分で組み立てます。展示会には色々なお客様が来られるのですが、ローザのブースを褒めてもらおうと素直にうれしいですね。

Q. 化粧品の専門用語などは、どのように勉強していますか？

A. 特に、補助金の書類の申請の際などに必要ですが、基本的にはインターネットで調べ、情報収集しています。また、業界誌や業界新聞を読み、勉強することもあります。

Q. 社員のスキルアップや教育研修がありますか？

A. 社内外のセミナーに参加しています。社内では、月に2回ほど知的財産権の講師を招き、マンツーマンで勉強をしています。スキルアップができるとともに報奨金もあり、自己実現ができます。また、原料業者や容器業者の方を招いてセミナーを開くこともあり、平均すると月3~4回はセミナーを開催しています。一方、社外では、コミュニケーションスキル等を磨くセミナーなどに参加します。

Q. 学生時代と社会人とは、どのような点が違いますか？

A. 「責任の重さ」です。学生の時は、ミスをして自分の責任であり、自分が損するだけです。社会人になると、ミスは会社が被り、それが会社の品位やお客様の信頼を損ねてしまう場合があります。一度失った信頼を取り戻すことは難しいです。

Q. 働くうえで重要なことは何ですか？また、学生時代にしておいた方が良かったことを教えてください。

A. 「誠実さ」です。ただただ、真面目にやるしかありません。

学生時代には、一番良いのは資格を取っておくことが良いと思います。資格は自分の手札にもなり、手札が多ければ多いほど、きれる枚数も多くなって自分の道が広がっていくと思います。二番目は、何でも良いので、経験を積むことだと思います。一人旅など何でも良いので、色々な経験を積むことがよいと思います。



インタビューを終えて・・・

化粧品はとても奥が深いと感じました。特に化粧品は、顧客の好みの違いが大きいことが分かりました。ローザ特殊化粧料の化粧品は肌に優しい素材を使用しているため、これまでスキントラブルのクリームが一度もないことをお聞きして驚きました。また化粧品業界は女性が働く場というイメージがありましたが、男性でも十分に働きやすい環境だと感じました。企業訪問を行い、今まであまり興味を持つ機会がなかった化粧品のことを知ることができ、勉強になりました。（青木純哉）

ローザ特殊化粧料の目指している方向性や、どのような想いで仕事をしているかなど、詳細に教えてもらいました。今回が私にとって初めての企業訪問であったため、緊張して上手く話せるか不安でしたが、ローザの皆さんがとても温かく迎え入れてくださり、安心して質問をすることができました。企業インタビューはとても貴重な機会であり、自身の今後に役立てたいと思います。本当に良い体験をさせていただけたことに感謝しています。（池田一暁）

最初、私は緊張をしていましたが、優しく、フレンドリーに接していただき、次第にリラックスして、お話しできるようになりました。企業のミッションやビジョン、社会人としての心構えや重要なことなど、普通の授業ではあまり聞くことができない話をお伺いすることができ、今後のためになる内容ばかりでした。（井上凱斗）

インタビューをさせていただき特に印象的だったことは、専務取締役の角屋さまが社員を大事にし、地域を大事にされていることです。インタビューを通じて、職場環境の重要性を学びました。昨今では、若者の離職率の高さが問題となっていますが、ローザ特殊化粧料のような仲の良いアットホームな雰囲気溢れる企業であれば、社員の定着にもつながると思います。アドバイス頂いた通り、大学時代にできることは何事にも挑戦をし、色々な経験を積んでから社会に出たいと思います。（井上翔太）

インタビュー全体を通じて、専務や社員の方の企業に対する熱い想いが伝わってきました。自分の働く会社が好きだからこそ働くことができるのだと思います。

インタビューの中では「朝令暮改」という言葉で表現されていましたが、規模が小さいがゆえの「組織の柔軟性」は、中小企業ならではのローザ特殊化粧料の強みであることが分かりました。また、自分の意見やアイデアが商品に反映されやすいなど、やる気があれば自己実現できる環境である点も、働きがいのある企業であると感じました。（三津谷歩夢）

地産地消やローザ式ローカルコミュニティなど、地域とともに歩み、地域の活性化を図るという点で一貫性のある企業だと感じました。またSDGsに取り組むなど、環境に配慮した企業行動をとっている点でも、今の時代をリードしている企業だと思います。多摩地域にはこんなに魅力的な企業があることを改めて知り、地域の企業や産業を見直すきっかけとなりました。（結城海斗）



制作者：多摩大学経営情報学部・野坂美穂ゼミ2年
青木純哉、井上凱斗、井上翔太、池田一暁、三津谷歩夢、結城海斗